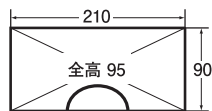


■ 仕様

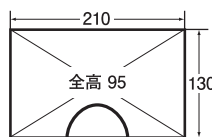
○ 寸法

※図中の単位はcmです。

- U.L.ドームシェルター 1
#1122625



- U.L.ドームシェルター 2
#1122626



○ 素材

- 本体：15デニール・バリスティック エアライト®ナイロン・リップストップ [耐水圧600mmウレタン・コーティング]
- フロア：30デニール・ナイロン・リップストップ [耐水圧1,500mmウレタン・コーティング]
- ポール：超タジュラルミンポール [φ8.5mm 7001 アルミニウム合金]

■ その他

本製品の仕様、デザインは予告なく変更されることがあります。また、重量などのスペックには誤差が生じる場合があります。

mont·bell

取扱説明書

U.L.ドームシェルター

U.L. Dome Shelter

この度はお買いあげいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書（以下「本説明書」といいます）は本製品の正しい取扱方法を説明しています。ご使用前に本説明書をよくお読みいただき、正しい使用方法をご確認ください。

なお、ご不明な点等ございましたら、販売店もしくは（株）モンベル カスタマー・サービスまでお問い合わせください。本説明書は大切に保管してください。

■ 特長

本製品は、世界最高レベルの軽量コンパクト性を持つシングルウォール構造の自立式ドーム型ツェルトです。軽量でありながら、インナーポール方式の採用により居住性も確保。水の浸入しにくいベンチレーターやシームテープ処理により、扱いやすくなっています。

【重要】本製品は「テント」ではありません。正しくご使用いただくために、この説明書をよくお読みください。

■ 各部の名称



※本製品に張り綱、ランナー、ペグは付属しません。

■ 安全上の注意 必ずお読みください

危険 人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容です。

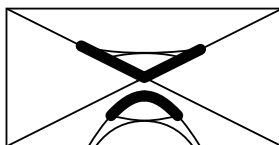
- 常に換気にご注意ください。本製品本体の生地には通気性がありません。常に本体上部と出入口上部の2カ所のベンチレーターが開き、換気が十分に行われているのを確認してください。ベンチレーターが適切に機能していない場合、酸素欠乏や有害なガスがシェルターに充満するなど、人体が危険な状態に陥る可能性があります。
- 冬季には使用しないでください。冬季等の気温が低い条件下では、ベンチレーターの結露や凍結、積雪等で換気性能が低下する恐れがあります。
- ベンチレーターは正しく使用してください。ベンチレーターのひさが正しい状態でご使用ください。ひさが曲がっていたり、潰れていたりすると、換気性能が低下する恐れがあります。
- 本製品内や本製品の近くでは、絶対に火気を使用しないでください。火災や一酸化炭素中毒の恐れがあります。
- 出入口のベンチレーターを常に開け、換気は充分ご注意ください。
- 台風、落雷、強風、豪雨、大雪などの厳しい自然条件の際は、キャンプ場の管理担当者の指示に従い安全な場所に避難してください。
- 河原や河川付近に設営する際は気象条件により突然増水することがあります。設営場所は特に注意してください。

警告 場合により人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
軽傷または物的損害が発生する頻度が高いことが想定される内容です。

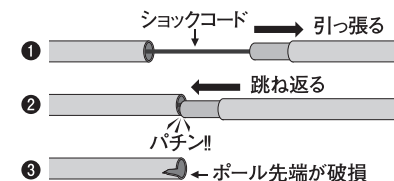
- 本製品を設営される際は、周囲の環境や気象条件などを充分考慮し、安全を確認してください。
- 出入口は風下側を選び設営してください。強風で本製品が飛ぶ恐れがあります。
- 本製品の設営の際は水はけがよく、出来るだけ平らな場所を選んでください。
- 本製品の改造や分解などは絶対にしないでください。性能が損なわれ、充分に保護能力が発揮できない恐れがあります。
- 使用前に毎回必ず点検をしてください。老朽化が認められる場合や損傷が認められたり、疑わしい場合は直ちに本製品の使用を中止してください。本来の性能が発揮できない恐れがあります。
- 正しいお手入れ方法、保管方法を守ってください。誤ったお手入れや保管方法を行うと、本来の性能を発揮できない恐れがあります。

注意 人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。

- このシェルターに使用している超軽量素材は、十分な強度はありますが、鋭利な岩場などで部分的に強い摩擦・衝撃が加わると、破損を招く恐れがあります。
- 悪天時の使用にはご注意ください。シェルターの本体生地には耐水圧600mm程度のコーティングを施しておりますが、激しい雨や悪天候の状況下では漏水や結露する恐れがありますので使用には十分ご注意ください。
- 漏水にはご注意ください。本体上部と出入口上部のベンチレーターは激しい雨の際に漏水する恐れがあります。より防水性を高めるため、縫製箇所(右図太線部)に市販の目止め剤を生地表面より塗布することをおすすめします。
- 稜線上や大木の近く、広い草原では落雷にも注意してください。
- キャンプ場やキャンプ許可地以外では使用しないでください。
- 設営地はできるだけ平坦で、危険のない場所を選んでください。
- 使用の際は必ずペグ(別売)と張り綱(別売)で固定してください。砂地や雪上ではペグが使用できない場合があります。あらかじめ設営する場所の地面の状態を確認してください。
- 本製品は太陽光線の紫外線により生地が劣化します。また、硫黄ガスが発生する温泉地等でも寿命を縮めますのでご注意ください。



- 本製品に慣れるため、実際にフィールドへ出かける前に必ず試し張りを行ってください。
- 各パーツやペグ(別売)には鋭利な部分があります。取扱いにご注意ください。
- ポールを伸ばす際は各節を完全に差し込んでください。また、指を挟まないようにしてください。
- ポールを伸ばす際は周囲に十分に注意してください。近くに人がいないことを確認してください。
- ポールを通しシェルター本体を立ち上げる際はポールの跳ね返りに注意してください。
- 小さいお子様にポールの組立てや、ペグ打ちの作業をさせないでください。
- 破損したまま本製品にポールを通すと、本体生地を傷つける恐れがあります。破損した場合は破損した鋭利な部分をヤスリ等で滑らかに削るか、カスタマー・サービスまでご連絡ください。
- ポールを組み立てる際は、奥まで差し込んでください。奥まで差し込まないとポールが破損する恐れがあります。
- ショックコードを必要以上に伸ばさないでください。ポールが跳ね返った際、衝撃でポール先端が破損する恐れがあります(右図参照)。



■ 使用前の点検

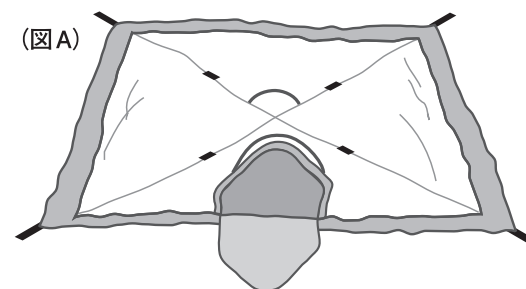
- ☐ ポールに亀裂などの破損がないか
- ☐ 生地に破れがないか

■ 使用方法

- **組み立て方法**
新しいシェルターに慣れるため、実際にフィールドへ出かける前に、必ず試し張りを行ってください。

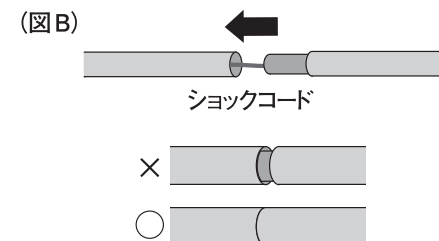
1. シェルター本体の組み立て

- ① 出入口を開けて上にしてシェルター本体を広げます(図A)。強風時は風でシェルター本体が飛ばされないようにペグ(別売)で仮留めしてください。



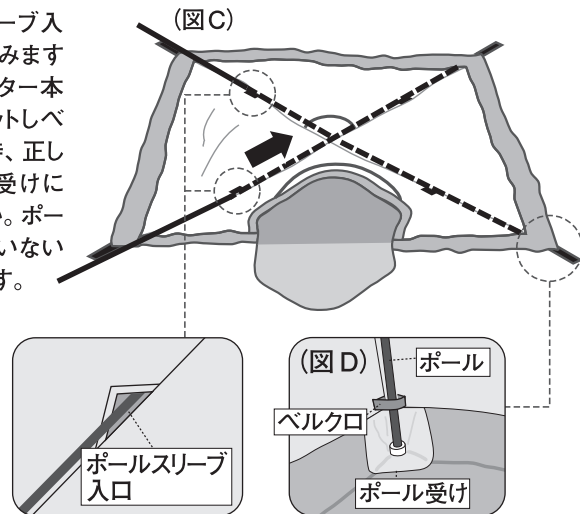
- ② ポールの中に通っているショックコード通りにジョイントを接続し組み立てます(図B)。

※ショックコードを必要以上に伸ばさないように注意してください。

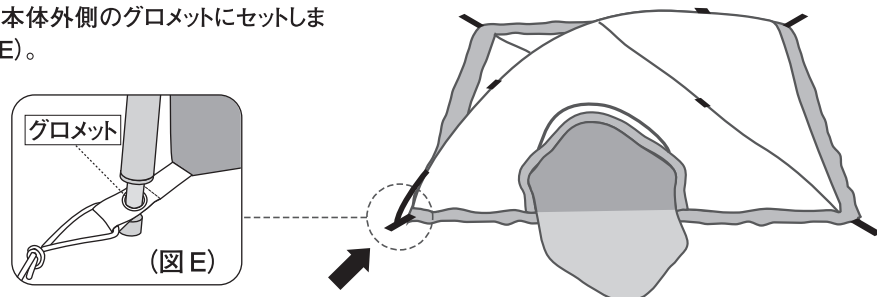


※ポールは奥まで差し込んでください。

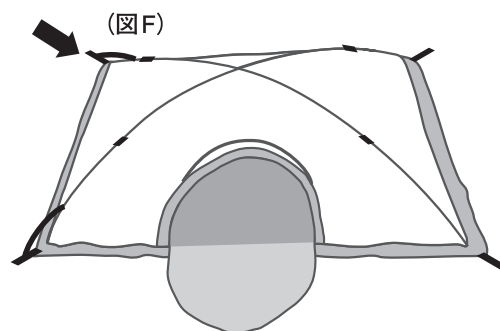
③組み立てたポールをポールスリーブ入口からシェルター内部へ差し込みます(図C)。ポールの先端をシェルター本体内部の奥のポール受けにセットしベルクロを留めます(図D)。この時、正しくポール先端が正確にポール受けに入っていることを確認してください。ポールが正しくポール受けに入っていないと、本体を傷つける恐れがあります。



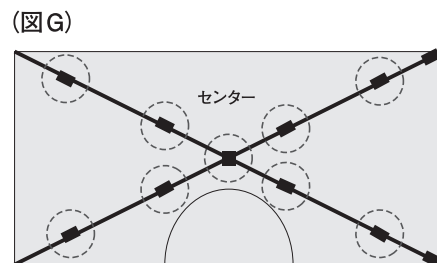
④ポールを湾曲させて一方の先端をシェルター本体外側のグロメットにセットします(図E)。



⑤もう1本のポールも同様にセットします(図F)。



⑥ポールを本製品内部の残り9カ所のベルクロで固定します。ベルクロはセンターから固定し、キャノピーの縫い目にポールが合うように調整しながら固定します(図G)。

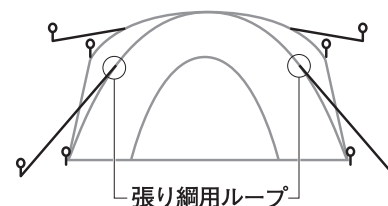


2. 張り網の固定

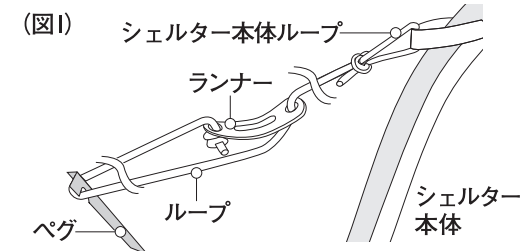
張り網(別売)は風が吹くことを想定して状況に応じて取り付けてください。シェルター本体4カ所の、張り網用ループに張り網を取り付けます(図H)。状況に応じて張り網にランナー(別売)(自在金具/図I)を付け、ランナーを通したループをペグ(別売)にかけて長さを調節します。シェルター本体裾部のペグ用ループについてもペグで固定します。なお、本製品にハンマーは付属していません。

※ペグで留める際は、ペグをこれ以上打ち込めない深さまで、打ち込んでください。

(図H) 1,2型



(図I)



※張り網用ループに張り網を結んだ状態で収納することで、次に使用する際に、設営しやすくなります。

○ 収納方法

①ペグを抜きます。

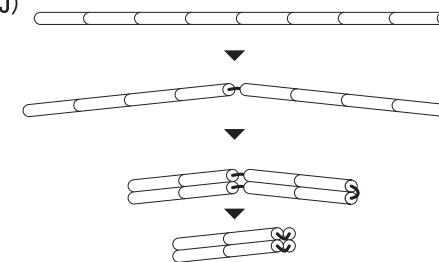
※ペグを引き抜く際は直接手で握らずに張り網等を引っ掛けて抜いてください。ペグには鋭利な部分があり、直接手で握るとケガをする恐れがあります。

②入口側のポールの端をポール受けから外します。その際ポールが跳ね返ると危険ですので、ポールが伸びきるまで手を離さないでください。

③ポールをシェルター本体から抜いてください。その際、ポールを引っ張らず、必ずポール受け側から最後まで押し出してポールを抜いてください。

④ポールを収納する際は真ん中から折りたたむようにします(図J)。こうすることにより、ショックコード全体に均一にテンションがかかり、ショックコードの寿命を伸ばすことができます。

(図J)



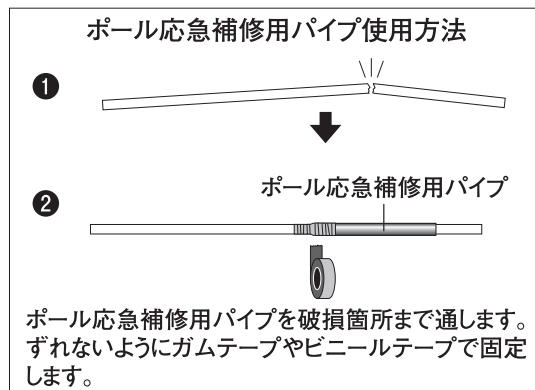
⑤収納袋の幅にシェルター本体を畳み収納します。

※図はイメージです。製品によって継ぎ数は異なります。

○ 破損時の対応

1. ポール

本製品のポールが万一破損した際は以下の通り応急処置をしてください。シェルター設営時に強風や豪雪などの理由によりポールが折れる場合があります。副木を添えて応急処置をすることもできますが、本製品の付属品であるポール応急補修用パイプを用い応急処置も可能です。



2. シェルター本体

生地破損については別途リペアシートをご用意しております。

※下山後は修理を依頼してください。販売店もしくは(株)モンベル カスタマー・サービスにお問い合わせください。

■ お手入れ方法

間違ったお手入れ方法や保管方法は本製品の寿命を縮めます。使用後や保管時は以下の点を参考にしてください。

- 使用後は、泥汚れなどをあらかじめ水洗いし、陰干しして乾燥後に収納してください。汚れたまま、あるいは濡れたまま長時間放置するとカビの発生する可能性があり、また生地も劣化しやすくなります。
- 長期の使用により、フロアなどの撥水性能(水を弾く力)が低下した場合は別売のS.R.スプレー等の撥水スプレーをご使用ください。
- ドライクリーニングや洗濯機による洗濯はできません。生地を傷める恐れがあります。
- ジッパーの動きが固くなりましたら、別売りのスムーズライダー™やローソクの口を塗ると回復します。
- ポールは汚れを濡れタオルで拭き取った後、機械油を薄く塗っておきます。

■ 保管方法

- 本製品を長期間使用せずに保管する場合は、なるべくゆるくたたみ、直射日光の当たらない風通しの良い場所に保管してください。付属の収納袋は、携行性を重視しているため、きつめにたたまいと入らないので使用を避けてください。
- 火のそばや暖房器具のそばなどの高温になる所に置かないでください。変形や損傷の原因になります。

■ 廃棄方法

- 廃棄方法は住まいの自治体の収集方法に従ってください。

■ アフターサービス

お買い求めいただきました本製品は万全を期して製造しておりますが、万一不備な点がございましたら、お買い求めいただいた販売店、もしくは下記の弊社窓口までご連絡ください。

製造上の欠陥による不具合の場合は無償で交換させていただきます。なお、修理、交換等の要否につきましては、弊社の裁量にて判断させていただきます。

なお、以下のような原因での破損、不良につきましては保証いたしませんのでご了承ください。

- 本製品の誤った使用方法によるもの
- 間違ったお手入れ、保管方法、経年変化による素材劣化
- 乱暴な取り扱いによるもの
- その他、製造上の欠陥以外の原因によるもの

破損時は弊社にて診断をして、修理が可能な場合はご要望により有償にて修理させていただきます。

■ オプション(別売)

本製品は下記の別売のオプションを利用することができます。

● テントマット ドーム1,2型

適度なクッション性を持ち、地面の冷さを遮る中敷き用マットです。

● メッシュアンカー

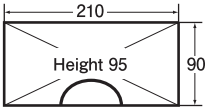
付属のペグが使用できない河原やガレ場でのシェルターの固定に使用します。

■ Specifications

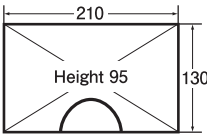
○ Dimensions

*Units are in centimeters.

- U.L. Dome Shelter 1
#1122625



- U.L. Dome Shelter 2
#1122626



○ Materials

- **Shelter Walls:** 15-denier Ballistic Airlight rip-stop nylon (urethane coating, water pressure resistant to 600mm)
- **Floor:** 30-denier rip-stop nylon (urethane coating, water pressure resistant to 1,500 mm)
- **Pole Material:** Anodized 7000 series aluminum with internal shock cord
Pole Diameter: 8.5mm

All product specifications and design are subject to change without prior notice. Actual product specifications may vary.

mont-bell Co.,Ltd.

2-2-2 Shinmachi, Nishi-ku, Osaka 550-0013 JAPAN
www.montbell.com

mont-bell

User's Manual

U.L. Dome Shelter

U.L. Dome Shelter

Thank you for purchasing this product. Before using, please carefully read this manual for instructions on the proper care and usage of this product.

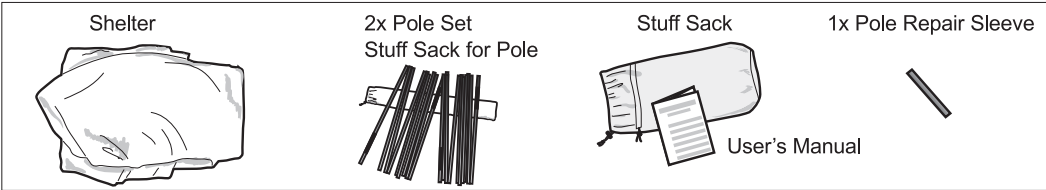
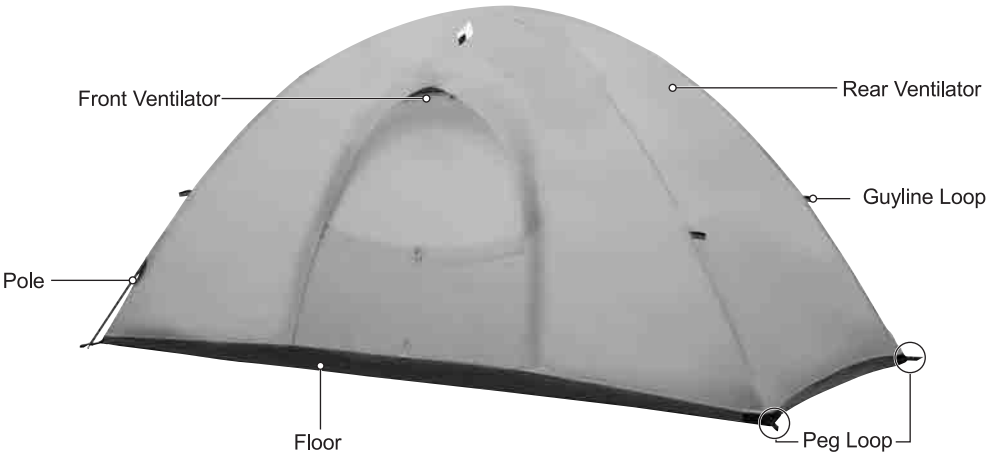
If you have any questions regarding this product, please contact Montbell Customer Service or the store of original purchase. Keep this manual for future reference.

■ Description

This dome-style single wall shelter is self standing, ultralight and extremely compact. The internal pole design provides plenty of space and livability. By seam sealing the shelter and designing the ventilators to make water entry difficult, the U.L. Dome Shelter is usable in a variety of situations.

[Warning] This product is NOT a “tent.” Read this user’s manual for safety warnings and instructions on the correct usage of this product.

■ Components



*Guylines, pegs and runners are not included.

■ Safety Warnings! Please read carefully.

⚠ DANGER! Under certain conditions, use of this product can result in major injury or death.

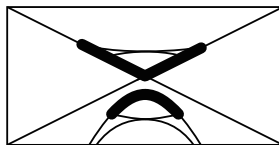
- Ventilate the shelter at all times. This shelter's fabric is NOT breathable. Check whether the front and rear ventilators are open and air is circulating. If the ventilators are not working properly, there is a danger that poisonous gases can build up within the shelter or occupants could suffer from hypoxia, a condition resulting from oxygen deficiency.
- Do NOT use this shelter during winter. At colder temperatures, snow blown by the wind and condensation build up (liquid or frozen) will negatively affect the performance of the ventilators.
- Make sure the ventilators are open and clear. If the ventilator shades are bent or crushed, they can block the ventilators preventing air circulation.
- Never place a flame source in or near your shelter. Injury or death by fire and/or carbon monoxide poisoning is possible.
- Ventilate the shelter at all times by keeping ventilators or shelter door(s) open.
- Follow campsite instructions for evacuation and safety procedures when encountering harsh weather conditions such as typhoons, lightning, strong winds, heavy rain or snow.
- When selecting a campsite near rivers or river beds please take into consideration weather conditions can cause rivers to flood suddenly.

⚠ WARNINGS! Under certain conditions, use of this product can result in injury, death, or property damage.

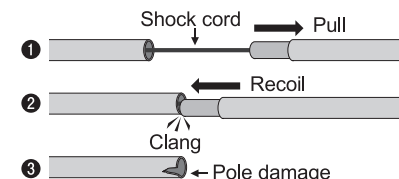
- When selecting a campsite, check the safety of the surrounding area and be aware of weather conditions.
- When selecting a campsite, place the entrance of the shelter downwind. Be aware this shelter can be blown away by strong winds.
- When selecting a campsite, choose a flat area with good water drainage.
- Do NOT modify or alter this product. Improper modifications and alterations can damage the product and impair functionality.
- Prior to use, check the shelter's condition and stop using immediately if you notice any deterioration from age/use, damage or irregularities.
- Please follow recommended care and storage instructions. Improper care and storage can lead to decrease in performance.

⚠ CAUTION! Under certain conditions, use of this product can result in injury or property damage.

- This shelter is made with ultralight materials. Although the fabric is strong, it will rip or tear if exposed to enough force or sharp edges, such as rocky terrain.
- Do NOT use this shelter in stormy weather. Although the shelter's fabric has a urethane coating which is water pressure resistant to 600mm, in heavy rain or extremely stormy weather, the fabric may leak or condensation can occur.
- Please note it is possible for heavy rain to leak through the seams along the ventilator shade, drip onto the ventilator and enter the shelter. To increase waterproofing apply a waterproof wax (sold separately) to seams along the front and rear ventilator shades (see right Fig.).
- Be careful of lightning in the mountains, when close to trees or in open fields.
- Only pitch shelters in areas designated for camping.
- Choose a campsite free of danger and as level as possible.
- Use pegs and guylines (both sold separately) to stake your shelter at all times. Pegs may not be suitable for all ground conditions, such as sand or snow. Before pitching the shelter, check ground conditions to see if staking pegs is possible.



- Ultraviolet rays from the sun can damage the shelter's fabric. Sulfur gas from natural hot springs can also shorten the shelter's lifespan.
- Before using the shelter for the first time, practice pitching the shelter at home to familiarize yourself with the shelter and its features.
- Be careful when handling pegs or shelter parts as they have sharp edges.
- When assembling the poles, make sure all sections are fully inserted and be careful of pinching your fingers in between pole sections.
- When assembling the poles, make sure the area is clear and be careful of other people in the area.
- When attaching the poles to the shelter, be careful of recoil.
- Do NOT allow children to assemble the poles or stake pegs.
- Do NOT put damaged poles into the shelter. Sharp edges on damaged poles will rip or tear the shelter's fabric. For damaged poles, contact Montbell Customer Service or file down any sharp edges.
- When assembling the poles, make sure all sections are fully inserted. Poles may be damaged if not fully inserted.
- Do NOT pull the shock cord more than necessary. Recoil can damage poles as seen in the figure to the right.



■ Prior to use, inspect this product for:

- ☐ Cracks or damage to poles
- ☐ Tears or damage to shelter fabric

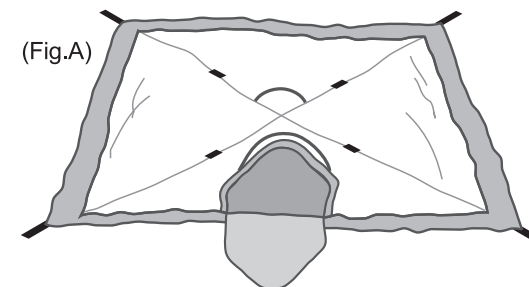
■ Directions

○ Setting up the Shelter

Before using the shelter for the first time, practice pitching the shelter at home to familiarize yourself with the shelter and its features.

1. Pitching the Shelter

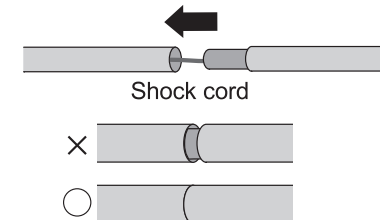
- 1 Spread the shelter on the ground and open the entrance. If there are strong winds, temporarily stake the shelter with pegs (sold separately) (see Fig. A).



- 2 Assemble the poles (see Fig. B).

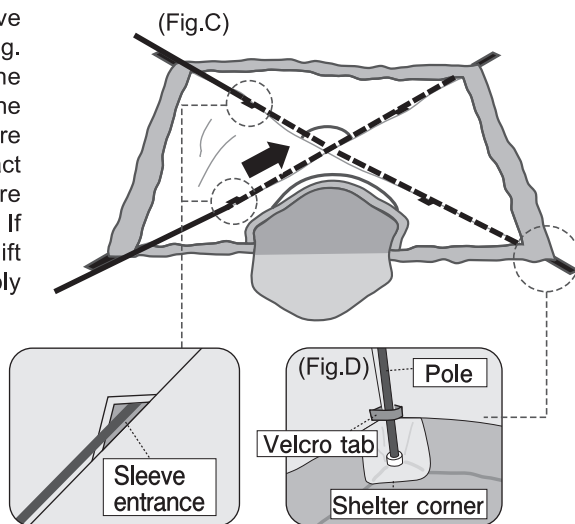
(Fig.B)

*Do NOT pull the shock cord more than necessary.

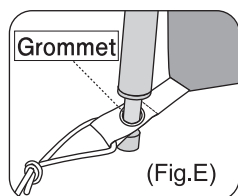


*Fully insert pole sections.

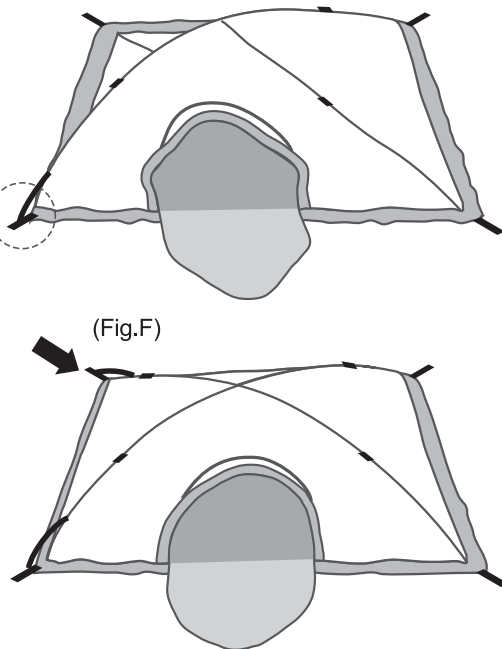
- ③ Insert the pole from the sleeve entrance into the shelter (see Fig. C). Set two pole ends into the corners and secure tightly with the Velcro tabs (see Fig. D). Make sure the no-slip fabric is in full contact with the poles and that they are securely positioned in the corners. If not properly set, poles can shift during strong winds and possibly damage the shelter's fabric.



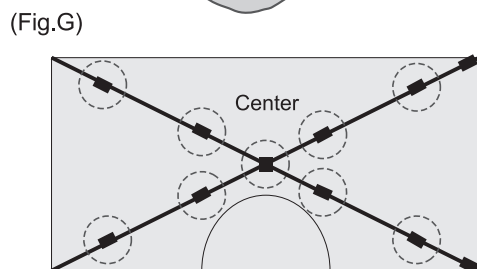
- ④ Slightly bend one pole and set its end into the shelter's grommet (see Fig. E).



- ⑤ Slightly bend the other pole and set its end into the remaining grommet (see Fig. F).



- ⑥ Secure the shelter to the poles using the remaining nine Velcro tabs. Start at the center and work down making sure the shelter's seams align with the poles (see Fig. G).

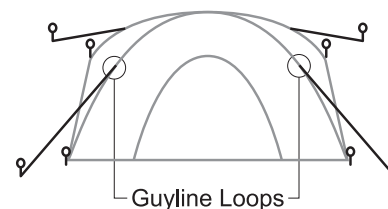


2.Staking the Shelter

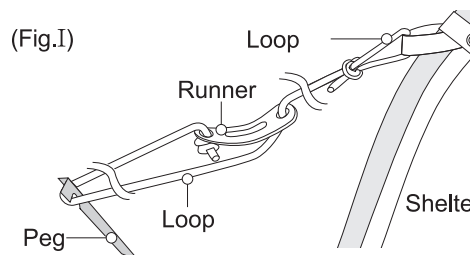
Always secure the shelter with guylines (sold separately) in windy conditions. Fix the guylines to the guyline loops on the shelter's corners (see Fig. H). Use the runners (sold separately) to tension the guylines to staked pegs (or optional anchors, see Fig. I). Stake the shelter with pegs. Please note that a hammer for staking pegs is not included with this shelter.

*Stake pegs as deep as possible, however do NOT allow the guylines to come into contact with the ground.

(Fig.H) U.L. Dome Shelter 1, 2



(Fig.I)

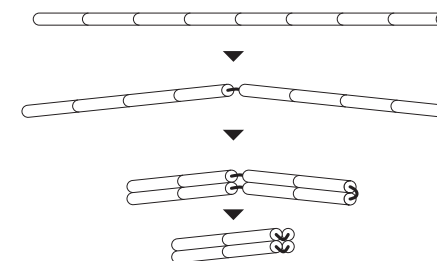


*Consider leaving the guylines attached to the guyline loops at all times for quick and easy setup.

○ Taking Down the Shelter

- ① Hook something around the pegs, such as the guylines, to pull pegs out of the ground.
*Do NOT pull out pegs with barehands. Edges may be sharp enough to cause injury.
- ② Remove the poles from the corners of the entrance. Firmly hold the poles until the poles are no longer at tension as there is a risk of injury due to recoil.
- ③ Remove the poles from the shelter. Do NOT pull the poles out of the shelter, instead push the poles out from the rear side of the shelter.
- ④ When taking apart the poles, remove the pole sections and fold the poles from the middle (see Fig. J). This extends the life of the shock cord by placing an equal amount of tension over the entire length of the cord.
- ⑤ Fold the shelter into the same width as the stuff sack for easier storage.

(Fig.J)

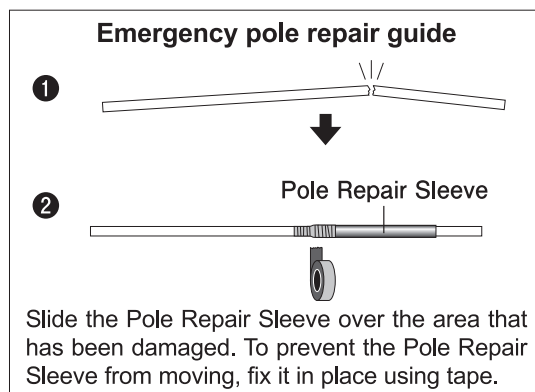


*Illustration. Actual shelter pole length and number of sections may vary.

○ Emergency Repair

1. Pole

In case a pole breaks, use the following procedure to temporarily fix the pole. When pitching the shelter it is possible to damage the poles during heavy wind and rain. Although it is possible to use a splint to temporarily fix the pole, we recommend using the Pole Repair Sleeve that was included with your shelter.



2. Shelter

If the shelter fabric is damaged or torn, temporarily apply a repair sheet (sold separately).

*Afterwards, contact the store where the shelter was originally purchased or Montbell Customer Service for information on permanent repair.

■ Care

- Wash away stains and soiling with water. Avoid direct sunlight and allow to air dry in a cool well ventilated area. If stored wet or soiled, mold can grow and the fabric can start to prematurely deteriorate.
- Over time the shelter floor's water repellant treatment will deteriorate. To restore the shelter's water repellant abilities, reapply a water repellant spray (sold separately).
- Do NOT dry clean or wash in washing machine. This can damage the shelter's fabric.
- If zipper movement becomes stiff, use Smooth Slider (sold separately) or candle wax to restore functionality.
- Use a damp cloth to clean the poles. Afterwards apply a silicone lubricant. For poles, only lubricate the joints.

■ Storage

- When storing for an extended period of time, store loosely in a well ventilated, cool, dry place out of direct sunlight. Shelters are not designed to be stored long term in their stuff sacks and should only be used for transporting the shelter.
- To prevent deforming And damage to the shelter, do NOT store near heat sources.

■ Disposal

- Please follow local regulations regarding waste disposal.

■ Warranty

Montbell's warranty covers all defects in materials and workmanship to the original owner, for the lifetime of the product. If a product ever fails due to a manufacturing defect, Montbell will repair or replace the product at its discretion. This warranty does not cover damage(s) caused by accident, improper care, negligence, misuse, alterations or normal wear and tear. Damage(s) not covered under warranty will be repaired at a reasonable rate. If you would like to make a warranty inquiry, please contact Montbell Customer Service or the store of original purchase.

■ Accessories (Sold separately)

The following accessories are available for use with this shelter.

● Tent Mat Dome 1, 2

A mat with an appropriate amount of cushioning and for preventing loss of heat through the ground.

● Mesh Anchor

An anchor for use in rocky terrain.